

愛の便り

校訓: 志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年 9月 2日

第96号



文責 (校長; 末永栄喜)

2学期スタート! 充実した日々を送るために

今年の夏休みも猛暑・酷暑の毎日でした。雨もほとんど降らずでしたが、最後になって台風の襲来を受けまとまった雨に加えて、強風の影響で広範囲に被害をもたらしたようです。ご自宅や農地等、心配はなかったでしょうか。



さて、40日余りの夏休みの生活は順調だったでしょうか。規則正しい生活、そして計画的な学習、思い出づくりを含めたメリハリのある過ごし方ができたでしょうか。自分自身を律して自立した生活ができた人とそうではない人では、この2学期の学校生活に明確に表れてくるでしょう。

かといって慌てること、焦ることなかれ。一刻も早く学校モードに切り替えて体調管理に努めることはもちろん、これまで通り一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

子ども自身が知っている通り、この2学期は大きな行事がたくさんあります。それはチャレンジの場が多くあり、同時に自身を成長させる機会が多いということを意味しています。それらの一つひとつを粹に感じて、果敢に挑んでほしいと願っています。



そこで、今日の始業式で話したことは「**計算力**より『**逆算力**』」です。中総体の激励式でも同じようなことを言ってきましたが、大会やテストのように、開催・実施日時は突然知らされるわけではありません。あらかじめ決まっているものばかりです。その日から逆算して、「今、何をしなければいけないのか。いつまでに何を準備すればいいのか。次にすることは何か」等を念頭に置きながら自分なりの計画を立てて実行に移したり、行動で示したりすることがなにより大切で、賢い生き方だと思うのです。

これが、私の言う「逆算力」です。「計算力」は鍛えれば伸びます。ただし、計算そのものを狭義にとらえれば限られた力であり、限られた場面でしか発揮できないものです。一方、「逆算力」は経験を積み積むほど鍛えられ、将来的にどんな場面でも応用が利く「生きる力」として有益なものとなるはずです。まだ中学生ですが、若いうちからこの「逆算力」を鍛えてほしい、習慣化してほしいと思うのです。短いスパンで考えることもよし、長いスパンで計画を立てるもよし。



長いスパンの典型的な例と言えは、3年生にとっては何といっても高校受験でしょう。受験日は決まっていますよね。であれば、いつまでに何をしておくべきか、そのための準備をどのように進めればいいのか、節目の小さな目標を決めるのもいいでしょう。

短いスパンで言えばたくさんあります。その日の計画もそうだし、週末や月末の出来事(行事やイベント)に照準を合わせることも該当します。これら一つ一つの点を結んで「線」にすれば、迷いなくブレることなく最終目標に向かって進むことができると思います。しかも、その線が太ければ太いほど、より充実した生活を送ることができるのです。

中学校生活とはいえ、小さな経験であってもそのチャンス

はたくさんあるものです。きっと将来につながるのだと確信します。どうか、今のうちに経験を積みながら鍛えてほしいと願います。

これも計算力に含まれるのかもしれませんが、「積小為大」とも言えるのではないのでしょうか。



指定夏服(ポロシャツ)の変更に向けて

8月9日付でお知らせしていました「指定夏服の変更」についてですが、同時にアンケートへの回答もお願いしていたところでした。その結果についてご報告します。

賛成; 84件(71.8%)、反対; 4件(3.4%)

どちらともいえないは 29件(24.8%)でした。

この結果から、概ね賛同を得たものと判断させていただきます。回答への協力、そして貴重な意見ありがとうございました。

今週いっぱいかけて、複数の生徒に試着させて反応を見たいと思います。前回は限られた生徒しか試着できなかったこともあり、今回は学校で洗濯したものを翌日着せることも実証する予定です。

今後は、着脱簡単な名札の検討を進めていきます。また、導入(変更)を前提に今月中旬頃には販売店の松原洋品店と相談し、購入希望調査を行った上で発注し、納入時期が決まり次第購入案内を发出する予定です。



なお、いただいたご意見や質問に関する学校側の回答詳細については、裏面をご参照ください。

「考える人」以来の再生計画 完遂!!

本校卒業のOB・OGであればご存じのことと思いますが、技術室棟と校舎の間の中庭に「希望の池」(PTA 広報誌のタイトル)という大きな池があります。以前から水量の自然減少が心配されていましたが、この夏休みの間に完全に枯渇してしまいました。池を泳いでいたわずか1、2センチほどの小魚(フナ)を数匹、直前に救出したところでした。この災難を逆手に取り、着任以来の清掃・改修工事に取り組みました。

長年びこっていた藻を残らず除去し、水量減少の最大の原因であった割れた池底にモルタルを塗り直しました。現在、台風がもたらした雨によって水が溜まり、きれいな池として甦ったのです。

そこに救出したフナも放流し、子どもたちから夏祭りで救ってきた金魚の提供も受けて、「希望の池」が池らしくなりました。来校の際はぜひご覧ください。

土曜日は早朝からたくさんの参加をいただき、除草作業が無事に終わりました。ご協力に感謝します。

